

健康と福祉を考える催し、盛大に開催

～第7回荒尾市健康福祉まつり～



▲ アトラクションの様子。はつらつとした演技は、観る人を元気にしてくれる。

6月6日（日）、文化センターで健康福祉まつりが開催されました。健康や病気、栄養に関する相談コーナー、体力測定や応急手当体験コーナーが行われ、多くの来館者で賑わいました。また暑い中でしたが、ピロティでは食品バザーや竹細工の販売が行われ、昼食時には行列ができ、用意されたテントも満席になるほどでした。

大ホールでおこなわれたアトラクションでは、緊張しながらも笑顔で歌や踊りを披露した出演者に、大きな拍手が送られていました。



▲ ボランティア体験コーナーの様子。点字体験コーナーで、自分の名前入りのしおりを作る参加者。

▼ 応急手当体験コーナーの様子。赤ちゃん、子ども、大人の人形があり、救急蘇生法と、AED（半自動式除細器）の使い方を教わる事ができた。



▲ 歯科検診コーナー 大人から子どもまで歯科検診を受け、正しい歯の磨き方を教わっていた。

由緒ある菩提樹の花、今年も開花

～宮崎兄弟生家施設～

(▼▶6月9日撮影)

6月上旬、宮崎兄弟生家施設の菩提樹が、満開になりました。菩提樹はシナノキ科の落葉樹。宮崎兄弟生家にある菩提樹は、宮崎滔天が明治28年に中国革命の糸口を求めてシヤム(タイ)に渡ったとき、持ち帰ったものといわれています。元の木が平成16年の台風で根元から折れた後、ひこばえを育てたものが現在の菩提樹です。花の時期は短いですが、甘い香りを漂わせ、訪れた人を楽しませました。



菩提樹は、毎年5月の下旬から6月上旬にかけて花が咲く。▶宮崎兄弟生家では、梅や杏、桜、牡丹など四季折々の花が楽しめる。